



2010～2011年度  
R I テーマ

Building Communities - Bridging Continents  
地域を育み、大陸をつなぐ

地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー会長

レイ・クリングスミス (国籍・米国)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分  
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0800 別府市北浜1-14-15  
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019  
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F  
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
http://www.beppu4rc.jp/chuo/  
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事 木村きぬゑ	理事 津末美代子	役員 会長 木村きぬゑ	会 長 近藤 賢司
〳 亀井 孝	〳 大島由美子	副会長 亀井 孝	直前会長 近藤 賢司
〳 河村 貴雄	〳 高宮 勝美	幹事 後藤 隆	
〳 村津 忠久		会 計 河村 貴雄	

VOL. 23-33  
2011年3月15日

## 第1041回例会

会報委員長 衛藤 秀子

- ◆点 鐘 12:30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆R S 我等の生業
- ◆唱 歌 春の小川
- ◆B. G. M 「ムード音楽ベストセレクション」より  
エーゲ海の真珠  
オリーブの首飾り  
イエスタデイワンスモア 他
- ◆ゲ ス ト 田崎 啓三氏  
(大分合同新聞社 文化科学部次長)

### ◆出席報告 出席副委員長 津末美代子

本日 の 出 席	会 員 総 数	23名
	出 席 者	18名
	事前メイクアップ	3名
	理 事 会 承 認	0名
	出 席 免 除	1名
前 々 回 の 訂 正	欠 席 数	1名
	出 席 率	81.82%
	出 席 率	68.18%
	事後メイクアップ	4名
	理 事 会 承 認	0名
3/1	出 席 免 除	1名
	修 正 出 席 率	95.45%
連 続		-回
通 算		742回 100%

### ・メイクアップ

事前 堀 (別府)  
梅津、平野(英)(地区大会)  
事後 平野(教)、河村 (別府)  
平野(英)、栢田 (地区大会)  
欠席 栢田  
出席免除 溝部

思っています。

今日の卓話は田崎哲三さんの「自産自消を学んだもの」です、楽しみに聞きたいと思っています。

### 会長の時間

会長 木村きぬゑ

先日は地区大会、おつかれ様でした。お陰様で1年に1回の大きな行事が終わり、ホッと居ります。

地区大会の時、あの東日本巨大地震があり、塩釜出身のR I 会長代理は飛行機が飛び立ったあと、車が津波で流されたそうです。もう少し出発が遅かったらと考えると背筋の冷える思いです。社員さんの安否、ご家族の事等どんなにご心配だったでしょう。察するにあまるものがあります。

天災の恐ろしさ、自然の脅威を改めて身にしみて感じています。被災地が一日も早く立ち直る事を望みつつ、私達で出来る事を精一杯したいと



—識字率向上月間—

世界ローターアクト週間（3月13日を含む1週間）

世界ローターアクトの日 3月13日

1. 本日の卓話  
「自産自消で学んだもの」  
大分合同新聞社 文化科学部次長 田崎啓三氏
2. 本日のゲスト  
田崎 啓三氏  
(大分合同新聞社 文化科学部次長)
3. 社会奉仕委員会報告  
村津忠久社会奉仕委員長より
4. 第8回臨時理事・役員会報告  
(平成23年3月8日(火)例会終了後～  
於：ホテルニューツルタ 8名)

審議事項

- 1) 2011学年度ロータリー米山奨学生世話クラブの承認及びカウンセラー選任の件。(クラブでの受入れは、5月例会からとなります。) ※承認  
\*グエン ユン ティツイさん  
(女/1988年12月19日生22歳/国籍・ベトナム/立命館アジア太平洋大学・アジア太平洋マネジメント学部4年)  
\*カウンセラー 近藤賢司会員
- 2) 3月15日(火)「ゲスト卓話」の件。 ※承認  
木村きぬゑ会長より紹介
5. 3月12日(土) 11:30～別府ビーコンプラザ・コンベンションセンターに於いて「地区大会4委員会」が開催され、信任状委員会委員として鳴海淳郎会員が出席されました。
6. 3月12日(土) 13:00～別府ビーコンプラザに於いて「R I 第2720地区2010-2011年度地区大会」が開催され、18:00～「R I 会長代理歓迎晩餐会及び会員交流会」となり多数のご参加をいただきました。翌、3月13日(日) 8:30～「会長・幹事・ガバナー補佐会議」が開催され、木村きぬゑ会長、後藤 隆幹事にて出席し、10:00～「2010-2011年度地区大会第2日目本会議」が開催されました。  
登録者：平野英壽、椛田健治、亀井 孝、木村きぬゑ、近藤賢司、岐部光男、前田哲矢、村津忠久、森園伸也、鳴海淳郎、津末美代子、梅津ヤヨイ、後藤 隆 各会員 村津久美子さん

尚、当クラブは下記の表彰を受けました。

☆高齢会員地区

大会出席者

(80歳以上)

鳴海淳郎会員

村津忠久会員

☆永年皆勤表彰 (40年以上50年未満)

鳴海淳郎会員

☆永年皆勤表彰 (25年以上40年未満)

溝部 仁会員

7. 本例会終了後、第9回臨時理事・役員会を開催いたします。

8. お祝い

結婚記念日 村津忠久会員 (3月15日)

中尾 誠会員 (3月18日)

※ご自宅にお花が届きます。

配偶者誕生日 近藤なな子さん (3月17日)

※記念品をお渡し致します。



9. 例会変更のお知らせ

杵築RC 3月24日(木)の例会は、定款第6条第1節(C)に基づき休会

大分RC 3月29日(火)の例会は、定款第6条第1節(C)に基づき休会

中津RC 3月30日(金)の例会は観桜例会の為 同日18:30～金色温泉こがね山荘に時間・場所変更

大分東RC 3月31日(木)の例会は、定款第6条第1節(C)に基づき休会

宇佐RC 3月31日(木)の例会は、花見例会の為 同日19:00～米沢観光園に時間・場所変更

杵築RC 3月31日(木)の例会は、観桜例会の為 同日18:30～焼肉みやべに時間・場所変更

中津平成RC 3月31日(木)の例会は、定款第6条第1節(C)に基づき休会

10. 次週例会の予定

「別府中央RC創立22周年記念卓話」鳴海淳郎会員  
「会員コラム」津末美代子会員

11. 本日の回覧

①「もみじ谷植樹作業」出・欠席 (3月20日)

②宇佐RC 週報

12. 本日の配布

①週報No.1,040

②ロータリー探究「地区大会を解剖する」

鳴海淳郎R情報委員長より



スマイルボックス 委員長 森 宗明

○木村会長

田崎次長様、いらっしゃいませ。興味あるお話が聞けそうで楽しみです。

先日は地区大会出席お疲れ様でした。ありがとうございます。

○村津会員

昨日、4ヶ月ぶりのゴルフをコース仲間と楽しみました。スコアはとも角、早春の日差しを浴び、浮き世の諸々は全て忘れて歩きました。腰の痛さも生きている証と思えば笑顔の種です。兎に角スマイル。

○鳴海会員

長男の嫁が東京の実家に帰ったついでに、福島に大学時代の友人を訪ね、偶然にこの度の震災にあいましたが、いろいろ難儀の末、お陰様で昨夜無事帰ることができました。感謝してスマイル致します。

(この度の地区大会について)

無事信任状委員としての努めを果たして、中々難儀をしましたが、何とかその役目を果たすことが出来ました。

この度は思いもかけず、「永年皆勤会員（40年以上）」の表彰をいただき、有難く感謝の他ありません。

また、本大会における桑原茂R I 会長代理の並々ならぬロータリー歴とご挨拶並びに大会所感に全く感動しました。

更に、前川昭一パストガバナーの記念講演、感動の連続でした。

○中尾会員

震災にあわれた方々にお悔やみ申し上げます。

田崎様、本日の卓話、楽しみにしています。(地産地消、自産地消、自産自消、ややこしいですね。)

○河村会員

東北関東の大震災の復興を祈念してスマイル。

○亀井会員

東日本大震災の被災者の皆様にお悔やみ申し上げます。今こそ、日本人の総力を持って、東日本の復興を手助けしましょう。

私事ですが、娘婿が自衛隊員で福島原発の近くで救援活動をしています。心配です。

○森会員

普通に暮らす事がどれだけ「幸」せな事か、こんな大惨事がないと気が付かない私です。ま

だまだ「感謝しきれていない自分」に反省しきりであります。

社会奉仕委員会報告

村津 忠久

3月20日(日)実施予定の今年のもみじ谷植樹は、曹友会の皆さんが災害派遣で東北の現地へ行かれましたので、延期します。

今月末頃、新たな実施日が決められると思います。今年の植樹予定、500本の内、300本は既に植樹を終わっております。

新たな奉仕活動の日程が決まりましたら、御参加の程を切にお願い申し上げます。

卓話

自産自消で学んだもの

大分合同新聞社 文化科学部次長 田崎 啓三氏

自産自消は自分で野菜を作って自分で料理して食べ、「作って食べる喜び」を伝えようと2009年6月に夕刊の連載企画としてスタートした。大分市内の自宅から約10キロ離れた大分市松岡の実家にほぼ毎週末通い、実家の敷地内にある菜園をフィールドに野菜を育てている。夏場には平日の出勤前や終業後に農作業をすることもある。連載1年目は月1回だったが、2年目の現在は毎月第2、第4火曜日の月2回連載している。野菜の旬や野菜本来のうまさ、食の安全の手間・コスト、隣近所とのコミュニケーションの楽しさ・大切さなどを伝えたいという願いも込めて書いている。



自産自消とは、自分で作って自分で消費するという意味。地産地消をもじった。「じさん」には、「最後の晚餐」とか言うときの食事や飲食することを意味する「餐」や自画自賛の「贊」、「じしょう」には、おいしい物を食べてにっこり笑うの「笑」の意味も含んでいる。

野菜作りはほぼビギナー。1年目に夏野菜を作った第1菜園は家の前の道路に面した場所にあり、5メートル×8メートルの約40平方メートル。母屋の真東にある第2菜園も、ほぼ同じ広さ。それに加え今は家の敷地内にある水田を、畑として使っている。現在は、ハウレンソウ、チンゲンサイ、ソラマメ、ニンニク、玉ネギ、ジャガイモなどを植えている。



自分で育てた野菜を食べると、まずは感動する。1日目、最初に植えたトマトの房に黄色い花が咲いて、だんだん上の実から大きく、赤くなっていく。真っ赤になったところで、指でつまんで取って食べる。「おー、できた、できた」とうれしくなった。そして自分で作ると、熟度に敏感になる。野菜は完熟して食べるものと、未熟果を食べるものがある。完熟して食べる野菜は、完熟すると「別物」と思わせるうまさがある。完熟トマトは甘味と酸味のバランスが良く、その代表例だろう。

未熟果を食べるオクラはスーパーなどで買っていると、たいていはきれいな五角形で10センチほどの物が、10本程度きれいに並んでネットに入れられている。これ以上の大きさのオクラは、道の駅などでなければ、見ることがない。ところが、オクラは、スーパーのレギュラー品以上に大きく育ったものの方が味が濃い。昨年夏に、熟度を高めたオクラにオリーブオイルを絡めて塩コショウを軽くふり、グリルして食べたら、あまりのうまさに感動した。だがオクラは大きくなりすぎると、筋張って食べられなくなるので見極めが必要だ。自分は、先端の細い部分を指で触って、柔らかさを確認して収穫する。

枝豆も、店では実が硬くなるずいぶん前に引いた物を売っているが、ある程度成熟した方が味が濃くて、プリプリと適度な歯応えもあっておいしい。

自分で育てると、スーパーで売られない品種を食べられるのも、いいところだ。個人的には、オクラはスーパー買う五角形のものより、丸いさやの「エメラルド」の方がこちらの方がうまいと思う。

妻の父が「青臭いトマトは、懐かしくてうまいねえ」というので昨年、「昔ながらのトマト」のキャッチコピーで売られていた大玉の品種を植えた。最近の生食用トマトは甘さ比べになっているが、このトマトは昔懐かしい青臭さがあった。自分が子どものころ食べていたのもこの種のトマトで、子どものころを思い出すことができた。舌で味わう味だけでなく、思い出の中の味をプレー

バックすることができた。

食の安全のコストについても考えさせられる。1年目の冬に白菜を作った際、青虫による食害を防ぐため、防虫ネットを張った。支柱とネット、ネットを固定するプラスチックの留め具を買い、収穫できた白菜の個数で経費を割ると、1個500円の超高級白菜になってしまった。自産キムチも、材料代と手間賃を時給換算すれば、3・5キロで1万円という破格の値段だ。安全な食はコストと手間がかかるというのが実感だ。

通りに面した第1菜園で作業をしていると、いろんな人に声を掛けられる。野菜作りの大先輩でもある農家のおいちゃん、おばちゃんが通り掛かると、自分が分からないことをアドバイスしてくれる。実家の奥の家にホームヘルパーとして通っていた女性には「あ、ここが自産自消の畑なんですな」と顔でばれた。

中1になる娘にも時々、作業を手伝ってもらおう。最近「おいしい野菜を食べさせるけん」という釣り言葉にも、なかなか釣られなくなったが、それでも手伝っているときは、父ちゃんが先生なんで、オヤジの威厳を示していられると思っている。

お世話になっている園芸資材店で「メディアは園芸の記事とか載せるが、どうやって枝を仕立てるかとか取り上げてばかりで、家庭菜園をしている人が一番困っていることを取り上げない」と指摘された。それは連作障害。園芸屋さんは連作障害は土づくりである程度防げるといふ。土づくりに挑戦しようと、第2菜園の一角に転がっていた直径50センチほどのコンクリートの管を利用して、野菜くずや、むしろ草を堆肥にする取り組みをしている。

さらに、堆肥の生産量を増やそうと、自分の代では使いそうにない木切れや古い農機具、廃ビニールでいっぱいだった納屋を、少しずつだが片付けている。いずれ、木くずのチップや裏山の墓地の周囲から刈ってきた草などで、堆肥がつけられたらいいなと思っている。農業が循環型産業なんだということ、伝えていきたいと思う。

## 会員コラム

大島由美子

### 私たちのDNA

この度の東日本大震災に於いて、私たち人間が天地万物に対していかに微力であるかを知らされました。が、日本人の秩序正しい在り方に世界中が感動しています。それは、日本が昔「神国」で

あり、その教えが永きにわたり私たちのDNAに刻まれてるからでしょう。これを教訓に国際社会日本人としての教育のあり方を新たに考え直したいものです。

今回は、津末美代子会員です。